

乙:論文博士 学位論文申請の手引き

- ・予備審査の提出書類
- ・論文調査の提出書類
- ・学位論文等の作成要領

令和8年4月

九州大学芸術工学部学務課教務係

1. 論文博士の審査資格について

九州大学では、本学大学院の学府の行う論文の審査に合格し、かつ、本学大学院の学府の博士課程を修了した者と同等以上の学力を有することの確認をされた者に対し博士の学位授与が行うことができますとされています。また、九州大学大学院芸術工学府において、論文博士の論文等の提出に係る予備審査を申請できる者は、

(1) 大学卒業後7年以上又は本学府若しくは他大学院の修士課程(博士前期課程)修了後4年以上の研究歴を有する者

(2) 前号と同等以上の研究歴を有する者

とされており、

その研究歴とは、次の各号の一に該当するものをいいます。

(1) 大学の専任職員として研究に従事した期間

(2) 大学院に在学した期間

(3) その他学府代議員会において前2号と同等以上と認める期間

論文博士の学位申請機会は年に4回あり、申請者は、「予備審査」及び「論文審査」の2回の審査に合格する必要があります。論文審査には、予備審査の合格者のみが臨むことができますので、申請者はまず予備審査に申請してください。

なお、予備審査の申請に当たり、論文博士は原則査読を受けた論文が3編以上必要です。

2. 令和8年度 学位審査スケジュール

	課程博士(甲)・論文博士(乙)共通			
	2026年9月授与	2026年12月授与	2027年3月授与	2027年6月授与
予備審査に必要な書類の提出期限	4月30日(木)	6月30日(火)	10月30日(金)	2月2日(火)
予備審査	5月14日～6月8日	7月9日～9月7日	11月12日～11月30日	2月11日～2月28日
予備審査結果通知	6月19日頃	9月18日頃	12月11日頃	3月12日頃
論文調査に必要な書類等の提出期限	7月8日(水)	10月5日(月)	1月12日(火)	4月5日(月)
論文調査、最終試験・学力の確認(公聴会)	7月11日～8月30日	10月8日～11月9日	1月15日～2月21日	
論文最終稿(PDF)提出期限	8月31日(月)	11月10日(火)	2月22日(月)	
学位授与の審議	9月9日(水)	11月18日(水)	3月3日(水)	
学位授与決定通知	9月15日頃	12月15日頃	3月15日頃	
学位記授与式	9月25日(金)	3月25日(木)		

■注意事項

- 書類の提出期限はいずれも17時まで、提出先は芸術工学部学務課教務係窓口となります。
- 学位の区分は、論文博士は「乙」です。
- 審査の日時や場所、学力の確認方法は研究指導教員等にお問い合わせください。
- 予備審査結果は芸術工学部学務課教務係より、論文調査の結果及び学位授与の詳細については大学本部より別途連絡します。

3. 審査に必要な書類

3-1. 予備審査に必要な書類

予備審査申請書及び主論文は、研究指導教員の承認を得た上で提出願います。

申請に係る各種様式については、学務課教務係へメールでご請求ください。**データ**と記載があるものはメールで、その他は原本を教務係へご提出ください。

①	予備審査申請書 データ	1通	所定の様式を用いて作成の上、電子データ(Wordファイル)を提出すること。
②	主論文(博士論文)	審査員の人数分	審査員の人数は、事前に指導教員に確認のこと。 ソフトカバーにより製本する。フラットファイルの利用も可。
③	主論文 データ	1通	主論文全文を1つに統合してPDFデータで提出すること。
④	参考論文 又は参考作品の説明書	審査員の人数分+事務保管用1通	参考論文には、第一著者である査読を受けた論文(関連論文・著書)を3編以上含むこと。
⑤	参考論文提出同意書 又は参考作品提出同意書	共著者又は共同制作者ごとに1通	参考論文に共著者又は参考作品に共同制作者がいる場合に、所定の様式を用いて作成の上、提出すること。
⑥	論文目録 データ	1通	所定の様式を用いて主論文と同じ言語で作成の上、電子データ(Wordファイル)を提出すること。論文名が英語の場合は、和訳をカッコ書きで付記すること。
⑦	論文要旨 データ	和文及び英文各1通	所定の様式を用いて作成の上、電子データ(Wordファイル)を提出すること。A4サイズ1頁に2000字程度(最大2頁以内を目安)。
⑧	履歴書 データ	1通	所定の様式を用いて作成の上、電子データ(Wordファイル)を提出すること。
⑨	大学卒業証明書、 修了証明書	1通	最終学歴の卒業または修了証明書を提出すること。 本学部・学府の卒業・修了者は提出不要。

3-2. 論文審査に必要な書類

予備審査の合格者は、論文調査に必要な書類等の提出期限までに以下の書類を提出してください。

なお、予備審査申請時に提出した書類に変更がある場合は、そちらも併せて提出してください。

①	学位申請書 データ	1通	所定の様式を用いて作成の上、電子データ(Wordファイル)を提出すること。
②	主論文(博士論文)	審査員の人数分	ソフトカバーにより製本する。フラットファイルの利用も可。
③	主論文 データ	1通	主論文全文を1つに統合してPDFデータで提出すること。
④	学位記に記載する氏名等について データ	1通	所定の様式を用いて作成の上、電子データ(Wordファイル)を提出すること。
⑤	学位論文審査手数料	57,000円	芸術工学部総務課経理係にて納入すること。 ※納入後の学位論文審査手数料は返金できません。

3-2の提出書類により総長あて学位論文の審査を願います。

以降論文タイトルの変更はお受けできません。

3-3. 論文調査(公聴会)後に提出する書類

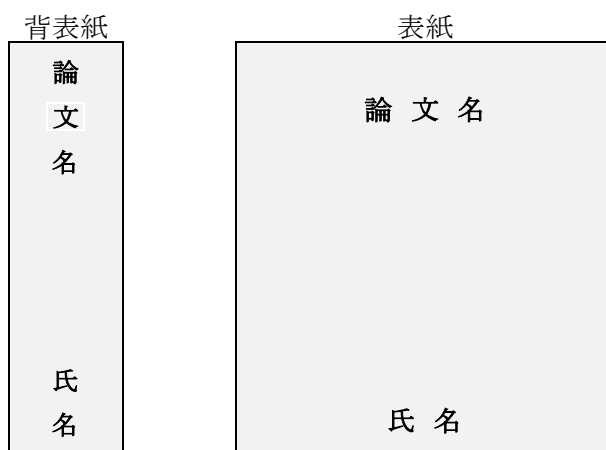
①	主論文データ	1通	主論文全文を1つに統合してPDFデータで提出すること。
②	論文要旨データ	各1通	所定の様式を用いて作成の上、電子データ(Wordファイル)を提出すること。A4サイズ1頁に2000字程度(最大2頁以内を目安)。
③	博士論文のインターネット公表確認書データ	1通	所定の様式を用いて作成の上、電子データ(Wordファイル)を提出すること。

4. 学位論文等の作成要領

乙:論文博士に係る学位論文の作成は、この作成要領によるものとする。

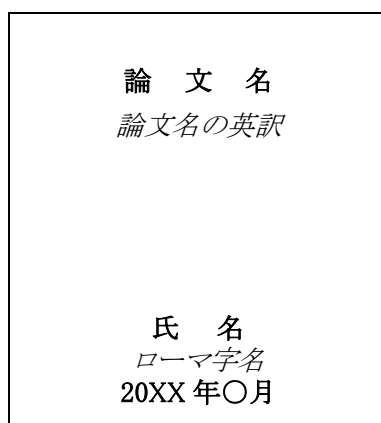
1. 規格は、A4判とする。
2. 論文は、フラットファイル等によるソフトカバー(普通紙)で構わない。
3. 表紙と背表紙、内表紙の記載事項は次のとおりとする。

(1) 表紙と背表紙



・表紙と背表紙には、論文名と名前のみを表記する。「論文名」はすべて一致させること。

(2) 内表紙



- ・内表紙には、論文名が英文の場合は和訳を記載すること。
- ・氏名は日本人の場合はローマ字名(例)九大 太郎→Taro Kyudai)を併せて記載し、外国人の場合は、カタカナ(または漢字)で名前を記載し、英文字での名前を併せて記載すること。
- ・日付は、学位授与の月で表記してください。(例えば・・・3月授与の場合は、2027年3月)

記入例

別記様式第4号

○ 年 ○ 月 ○ 日	
九州大学大学院芸術工学府長 殿	
氏 名	○○ ○○ 注1
予 備 審 査 申 請 書 (論文博士)	
博士 (芸術工学)	注2
このたび	の学位の予備審査を受けたいので、九州大学大学院芸術工学府の学位の審査に係る内規第11条第2項の規定に基づき、下記の学位論文に関係書類を添えて提出いたします。
博士 (工 学)	
記	
学位論文題目	○○○○○○○ 注3
研究指導教員	
氏 名 ○○ ○○ 注4	

注1 「履歴書の氏名欄」に記載されている氏名表記（日本国籍の者の場合は漢字、外国籍の者の場合はカタカナもしくはアルファベット。）を用いること。

注2 指導教員と相談の上、どちらかの学位を選択すること。

注3 主論文の「論文題目」は、本文と同じ言語によるものとする。

外国語の場合、和訳を（ ）カッコ書きで付記すること。

以下の①～④に記載する「論文題目」は全て同一であること。

①論文の「表紙」および「背表紙」 ②論文の「中表紙（あれば）」 ③論文目録 ④論文要旨
論文題目が外国語の場合、大文字・小文字といった表記も同一とすること。

注4 押印不要。ただし、提出許可は得ておくこと。

参考論文提出同意書

〇〇 〇〇氏が学位請求のため、参考論文として提出する論文のうち、私と共著の下記部分については、〇〇〇〇氏の学位論文とすることに同意します。

記

- 1 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇雑誌 第〇巻 第〇号 (〇年 〇月)
〇ページ ~ 〇ページ

- 2 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇雑誌 第〇巻 第〇号 (〇年 〇月)

- 3 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇雑誌 投稿中

〇年 〇月 〇日
共著者 〇〇 〇〇 印または署名

論文目録

氏名	○○○○ 注1
<p>主論文 1編 1冊</p> <p>題名 ○○○○○○ 注2</p> <p>大部は、○○雑誌 第○巻 第○号（令和○年○月○日）に公表済 注3</p> <p style="text-align: center;">:</p> <p>残部は、○○雑誌 第○巻 第○号（原稿枚数○枚）（令和○年○月○日）に公表予定</p> <p style="text-align: center;">:</p> <p>参考論文 ○編 ○冊</p> <p>題名</p> <p>1 ○○○○○○○・・・・</p> <p style="padding-left: 40px;">○○雑誌 第○巻 第○号 (令和○年○月○日)</p> <p style="padding-left: 40px;">共著者 ○○○○、○○○○、○○○○、○○○○</p> <p>2 ○○○○○○○・・・・</p> <p style="padding-left: 40px;">掲載サイト ○○○○○○ http://□□□□□□□□ (令和○年○月○日)</p> <p style="padding-left: 40px;">共著者 ○○○○、○○○○、○○○○</p> <p>3 ○○○○○○○・・・・</p> <p style="padding-left: 40px;">○○雑誌 第○巻 第○号 (原稿枚数○枚) (令和○年○月○日) に公表予定</p> <p style="padding-left: 40px;">共著者 ○○○○、○○○○、○○○○</p>	

・「主論文」とは博士論文のことで、「参考論文」とは査読を受けた論文及びその他の論文等の総称である。

注1 「履歴書の氏名欄」に記載されている氏名表記（日本国籍の者の場合は漢字、外国籍の者の場合はカタカナもしくはアルファベット。）を用いること。

注2 主論文の「論文題目」は、本文と同じ言語によるものとする。

外国語の場合、和訳を（ ）カッコ書きで付記すること。

以下の①～④に記載する「論文題目」は全て同一であること。

①論文の「表紙」および「背表紙」 ②論文の「中表紙（あれば）」 ③論文目録④論文要旨
論文題目が外国語の場合、大文字・小文字といった表記も同一とすること。

注3 主論文（博士論文）の内容が既に対外的に認知されているかを知るため公表状況を記載すること。

主論文・参考論文ともに公表年月順に列記する。

1) 未公表の論文の場合は、公表予定の「方法」「時期」「原稿枚数」を記入する。

公表予定がない場合、投稿予定を記載する。

公表予定を記載する場合は、公表時期が決まり次第連絡すること。

2) 参考論文がインターネット上のみで公表されるものを記載する場合は、「掲載されるサイトの名称」、

「URL」、「公表の時期」、「共著者名」を記載すること。

※ 参考「学位規則第24条 博士の学位を授与された者は、当該博士の学位を授与された日から1年以内に、当該博士の学位の授与に係る論文の全文を公表しなければならない。ただし、当該博士の学位を授与される前に既に公表したときは、この限りでない。」

記入例

区分	乙
----	---

履 歴 書

(ふりがな) 氏 名 生年月日	きゅうだい たろう ホアンツ ウエイ モハメッド アブドゥル 九大 太郎 Hyang Chih Wei Mohammed Abdul Kyudai Taro 黄 志 偉 平成 XX (19XX) 年 X 月 X 日生	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
本 籍 (都道府県名)	*都道府県名のみを記載する。 *外国籍者は国籍(国名)を記載する。	
現 住 所	〒□□□-□□□□ ○○県○○市○○区○○ □-□-□ ○○○アパート □□□号室	
学 歴	平成 30 年 3 月 20 日 注1 九州大学芸術工学部○○○学科 卒業 注2 平成 30 年 4 月 1 日 九州大学大学院芸術工学府○○○○専攻 修士課程 入学 令和 2 年 3 月 23 日 同上 修了 令和 2 年 4 月 1 日 九州大学大学院芸術工学府芸術工学専攻 博士後期課程 進学 注3 令和 5 年 3 月 31 日 同上単位修得退学	
<p>注1 日付は年月だけではなく「日」まで記載すること。 例「令和2年3月23日」○「令和2年3月」×</p> <p>注2 大学卒業から記載すること。(前歴は不要)</p> <p>注3 他大学の大学院修士課程修了者は「編入学」と記載すること。 中途退学は「退学」、在学期間3年で単位を全て修得した上での退学は「単位修得退学」と 区別して記載すること。</p> <p>注4 研究生歴は学歴ではなく、研究歴に含めること。</p>		
職 歴	令和 2 年 4 月 1 日 ××株式会社 採用 (営業職) 令和 3 年 4 月 1 日 ◎◎株式会社 (旧名××会社 令和 2 年 4 月 1 日社名変更) ○○研究所 配置換 (研究職) 令和 4 年 3 月 31 日 同上 退職 令和 5 年 4 月 1 日 日本学術振興会特別研究員採用 現在に至る 在職中の場合	
<p>※職歴がない場合は、「なし」と記載する。</p> <p>※日本学術振興会特別研究員の期間は、職歴に記載し、研究歴では大学院在籍の形で記載する。</p>		
研究歴	平成○年○月○日～平成○年○月○日 ○○大学○○学部において研究生として○○○○○について研究 注4 平成○年○月○日～令和○年○月○日 九州大学大学院芸術工学府○○専攻 修士課程において○○○○○について研究	

(履歴書記入例：次項に続きます)

(履歴書記入例：前項からの続きです)

令和〇年〇月〇日～令和〇年〇月〇日

〇〇株式会社〇〇研究所及び〇〇研究所において〇〇〇〇〇について研究

令和〇年〇月〇日～令和〇年〇月〇日

九州大学大学院芸術工学府〇〇専攻 博士後期課程において〇〇〇について研究

※大学院（修士及び博士）在学中の研究内容も研究歴に記入してください。

※研究した事項とその期間を明記すること。学歴及び職歴に記載した期間中に研究歴に当たるものがある場合は、それも記載すること。

※研究生歴は、研究歴にのみに記載し、学歴には記載しないこと。

※専修生や内地留学等は研究歴として可。聴講生や研究室出入等私的なものは不可。

上記のとおり相違ありません。

令和 〇 年 〇 月 〇 日

(氏名) 〇〇 〇〇

【参考】

九州大学の大学院名については次のようになります。

平成11年度入学者（～H12.3.31）までは「〇〇〇研究科」で、それ以降は「〇〇〇学府」

また、九州芸術工科大学と九州大学の 大学院の修了日（＝修了式の日）は以下のとおりです。

平成11年3月18日、平成12年3月17日、平成13年3月16日、平成14年3月18日、
平成15年3月18日、平成16年3月18日、平成17年3月25日、平成18年3月27日、
平成19年3月26日、平成20年3月25日、平成21年3月24日、平成22年3月25日、
平成23年3月24日、平成23年9月26日、平成24年3月27日、平成24年9月24日、
平成25年3月26日、平成25年9月24日、平成26年3月25日、平成26年9月25日、
平成27年3月25日、平成27年9月25日、平成28年3月25日、平成28年9月26日、
平成29年3月24日、平成29年9月25日、平成30年3月20日、平成30年9月25日、
平成31年3月20日、令和元年9月25日、令和2年3月23日、令和2年9月25日、
令和3年3月24日、令和3年9月24日、令和4年3月23日、令和4年9月22日、
令和5年3月20日、令和5年9月25日、令和6年3月25日、令和6年9月25日、
令和7年3月25日、令和7年9月25日、令和8年3月25日

氏名

- 1) 日本国籍者の氏名については、ふりがな・漢字・アルファベットを、外国籍者の氏名については、カタカナ・アルファベットを必須とし、漢字もあれば記載すること。
(氏名の順番等は、パスポートや在留カードと照合し、学籍氏名も含めてできるだけ統一させる。)

(例)

①日本国籍の場合

きゅうだい たろう
九大 太郎
Kyudai Taro

②中国・韓国等（漢字圏）の場合

ホァンツ ウェイ (カタカナ)
Hyang Chih Wei (アルファベット)
黄志偉 (漢字)

③欧米等（非漢字圏）の場合

モハメッド アブドウル (カタカナ)
Mohammed Abdul (アルファベット)

- 2) 「履歴書の氏名欄」に記載されている表記を博士學位論文審査申請関係書類における氏名の基準とする。よって、関係書類は「履歴書の氏名欄」に記載されている氏名表記のうち、漢字・カタカナ・アルファベットのいずれかを用いて作成すること。
- 3) 氏名表記に使用する漢字は、日本国の常用漢字とする。

生年月日

「和暦」及び「西暦」を記載する。

(例) 昭和51(1976)年1月1日

平成2(1990)年1月1日

本籍(都道府県)

都道府県名(外国籍者は国籍(国名))のみを記載する。

国名は、在留カードにある国名表記を原則とする。

中華人民共和国→「中国」、大韓民国→「韓国」など。

現住所

住民票に記載されている住所を都道府県名から記載する。

郵便番号、団地名、宿舍名、番号等を正確に記載すること。

提出後変更があった場合は、速やかに届け出ること。

学歴

- 1) 新制大学卒業以後または最終学歴から、年月日の順を追って正確に記載すること。
- 2) 入学・修了等の年月日に合わせて、大学名、学部・研究科名、学科・専攻名、修士課程・博士課程・博士後期課程の別を記載する。学科名や専攻名の記載が抜けていることがあるので注意すること(特に外国の大学を卒業・修了した場合)。
- 3) 本学における大学院入学・進学の区分に注意する。
在籍中の場合は、「現在に至る」とし、中途退学は「退学」、単位修得の上退学は「単位修得退学」と区別して記載する。
- 4) 研究生歴は学歴に含めない(研究歴に含める)。

職 歴

- 1) 年月日の順を追って、採用・退職・職種等を記載する。
在職中の場合は、最後に「現在に至る」を記載する。
- 2) 常勤の職について記入する。
但し、非常勤の職であっても、特に研究に関するものについては記載できる。
- 3) 職歴がない場合は、「なし」と記載する。
- 4) 日本学術振興会特別研究員の採用期間は、職歴に記載し、研究歴では大学院在籍の形で記載する。
- 5) 在職中の会社や組織の名称変更がある場合は、以下のように記載する。
(例) 「△△会社 (旧名××会社 平成○年○月○日 社名変更)」
「××会社 (平成○年○月○日 △△会社に名称変更)」等
- 6) 九州大学での TA (ティーチング・アシスタント) 及び RA (リサーチ・アシスタント) は職歴には記載しない。

研 究 歴

- 1) 研究した事項とその期間を明記すること。学歴又は職歴に記載した期間中に研究歴に当たるものがある場合は、それについても記入すること。
- 2) 修士課程の期間から研究歴に含めることができるが、学部は含めない。
但し、研究生の期間を含めることができる。その際、「研究生として」を必ず記載する。
- 3) 同一研究歴が複数の組織にまたがる場合は、組織名を「及び」で結んでまとめて記載しても良い。
(例) 九州大学大学院芸術工学府および日立製作所中央研究所において、△△に関する研究
- 4) 研究継続中の場合は、「現在まで」と記載する。
- 5) RA (リサーチアシスタント) は研究歴に含めることもあるが、九州大学での RA については、研究歴に含めない。(TA は研究と関係ないので含めない。)
- 6) 個人的に研究室にて指導を受けた場合については、研究歴に含むことができない。
(研究生として在籍すべきであることが理由)

記入例

令和 年 月 日

九州大学大学院芸術工学府長 殿

本 籍： ○○○ 注1

氏 名： ○○ ○○ 注2

学 位 申 請 書

貴学学位規則第16条により、博士の学位を受けたいので、下記のとおり関係書類を添え、学位論文を提出いたします。

なお所定の手数料を納入いたします。

記

- | | | | | |
|--------|-----|-----|-----|---|
| 1 主論文 | 1 編 | 1 冊 | 1 通 | ※ここはそのまま変更しないでください 注3 |
| 2 参考論文 | 3 編 | 1 冊 | 1 通 | 注4 |
| 3 論文目録 | | | | |
| 4 論文要旨 | | | | |
| 5 履歴書 | | | | |

注1 都道府県名（外国籍の場合は国籍（国名））を記入する。

国名は、在留カードにある国名表記を原則とする。

※中華人民共和国→「中国」、大韓民国→「韓国」等

注2 「履歴書の氏名欄」に記載されている氏名表記（日本国籍の者の場合は漢字、外国籍の者の場合はカタカナもしくはアルファベット。）を用いること。

注3 主論文は3通提出するが、この欄は「1編1冊1通」とすること。

注4 参考論文は各々3通提出するが、この欄は「1通」とすること。

* 「○編○冊○通」について、「編」は論文数、「冊」は論文の冊数。上下巻や本編・資料編に分かれている場合は2冊となる。

「通」は提出数であるが、「学位論文審査願」の参考論文は「○編○冊1通」と記入する。

別 紙

学位記に記載する氏名等について【記入例】

〈漢字氏名〉 ※フォントは「HG 正楷書体・PRO」です。	(例：日本人) 高橋 太郎 (例：留学生) 华 雪峰
〈カナ氏名〉 ※フォントは「HG 正楷書体・PRO」です。	(例：日本人) タカハシ タロウ (例：留学生) カ セツホウ
〈英字氏名〉 ※フォントは「HG 正楷書体・PRO」です。	(例：日本人) TAKAHASHI Taro (例：留学生) HUA XUEFENG
授与決定通知 送付先メールアドレス ※「s.kyushu-u.ac.jp」以外 のアドレスであることが望ましい。	※本学修了後も継続して使用できるメールアドレスを記載すること。

*本様式に記載されている文字を学位記に記載しますので、各項目を正確に漏れなく記載願います。

*学位記は原則として再発行しないことを鑑み、学位記の氏名表記（漢字や表記順等）は、申請者の希望により、学籍等との表記とは一致せずとも良いものとします。ただし、学籍の氏名表記と異なる表記とした場合、本学が発行する各種証明書の氏名表記と学位記の氏名表記に差異が生じる可能性があり、また、差異が生じた際の同一人物であることの証明は、申請者本人が行うこととしますのでご留意ください。

*和文学位記の氏名表記

日本国籍及び漢字圏の外国籍の場合＝「漢字氏名」欄の表記を使用

漢字圏以外の外国籍の場合＝「カナ氏名」欄の表記を使用

*英文学位記

日本国籍者の場合＝「英字氏名」欄の表記を使用。

- ・ヘボン式ローマ字とすること。（パスポートを取得している人はパスポートどおり）
- ・表記順は姓→名とし、姓は全て大文字、名は頭文字のみ大文字とする。

(例) 九大 太郎 → KYUDAI Taro

外国籍者の場合＝「英字氏名」欄の表記を使用。

- ・文字の記載は原則としてパスポートどおりとすること。
- ・原則すべて大文字とする。
- ・表記順は希望（出身国の慣習等）でも可とする。

*氏名にPC・ワープロ等で出力されない異体字等が含まれる場合は、手書きで記載願います。ただし、異体字等は本学が発行する各種証明書の表記に用いることはできない可能性があり、学位記との表記に差異が生じる可能性があることについてご留意ください。

*旧姓使用又は通称名使用に伴い、上記氏名が学籍（戸籍）氏名と異なる場合は、「学位記記載の氏名表記届」を併せて提出願います。

*授与決定通知は、学位授与が決定次第、上記メールアドレスに送付します。